

令和元年度第3回さぬき市行政改革推進委員会 会議要旨

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 令和2年2月18日（火）午前10時00分～午前11時45分 |
| 場 所 | さぬき市役所4階 第2委員会室 |
| 出席者 | <p>[委 員] 計10名 奈良委員（会長）、松本委員（副会長）、大部委員、金本委員、木村イツ子委員、木村英司委員、高嶋委員、田中委員、津村委員、眞鍋委員</p> <p>[事務局] 計4名 総務部：向井部長 総務部政策課：谷課長、多田副主幹、多田主査</p> |
| 欠席者 | [委 員] 計0名 |
| 傍聴者 | 2名 |
| 次 第 | <p>1 開会 2 会長挨拶 3 議事 （1）行政改革に関する提言書について （2）その他 4 その他 5 閉会</p> |
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 行政改革に関する提言書（案） ・（当日配布）県内各市町 職員の給料等について |

| | |
|-----|--|
| 開会 | |
| 議 事 | <p>（1）行政改革に関する提言書について 提言書（案）について御意見などありましたら、どなたからでもお願いします。</p> |
| 会 長 | |
| 委 員 | |
| | <p>全体構成について、「提言にあたって」は「はじめに」なので、「おわりに」を付けた方が良いでしょう。大きな3番として「今後の課題」はどうですか。時間があまりないので十分協議できなかったけれども、大切な課題だという旨を記載してはどうですか。</p> <p>今後の課題としては4点あると思います。1点目は「県外への情報発信の拡大」です。いろいろな手段を通して、まずは県外の人に知ってもらわないといけません。</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>2点目は「若い人の意見の聴取」です。若い人が相変わらず流出しています。先日の新聞では、さぬき市の社会減は488人で、深刻な状況です。</p> <p>3点目は、「関係人口の拡大」です。関係人口は、例えば、都市部に住みながら地域の伝統行事などに参加する人口をいいます。これは、将来的に移住につなげるというねらいがあります。関係人口を増加させないと、さぬき市は活性化しません。</p> <p>最後の4点目は、「女性管理職の拡大、積極的登用」です。さぬき市でも女性管理職の割合は少ないと思います。加えて、「働き方改革」である一層のワークライフバランスの推進も大切です。</p> <p>これらを「今後の課題」として入れておいた方が良くと思います。重要な課題ということは触れておく必要があります。</p> |
| 委員 | <p>「移住促進について」の「滞在型市民農園」について、1反もの畑で農業をしたい人はあまりいないため、「農業をしたい人」という表現は少し考えた方が良いでしょう。健康志向の高まりや残留農薬の心配などから、自分で野菜を作ってみたいという人は多いと思います。</p> |
| 会長 | <p>いろいろと御意見を頂いたので、他の委員の御意見も聞いた上で最終的にまとめたいと思います。他に御意見はありませんか。</p> |
| 委員 | <p>先ほど「県外への情報発信」ということでしたが、資料1の3ページ「(2)情報発信の強化について」は、市から市民への情報発信について書かれています。観光へもつなげるために、県外への情報発信にも触れて書いてほしいです。</p> |
| 委員 | <p>これまでお聞きしたように、今後の課題は大切で、具体的なものを入れた方が良くと思います。例えば、県外への情報発信では、どういうことをしたら良いのかということを書いた方が良いでしょう。</p> <p>資料1の3ページ「③全市的な観光資源としての平賀源内のPRについて」の1行目は毎回のようになっています。平賀源内の墓がある総泉寺は、東京都台東区にありますが、区画整理の際に総泉寺は移動したのに、そのまま残りました。地価が高いのに、広い区画を取っていることは、それほど偉人として重要視されているということです。</p> <p>では、さぬき市はどうかというと、旧邸と記念館では、「文化サロン源内」という会があり、どのようにしたら観光客を呼べるかなどを話し合っています。以前、源内先生を取り扱ったドラマがあった際には大変盛り上がりました。サロンでは、大河ドラマを誘致してはどうかと検討していますが、なかなか前に進みません。</p> <p>大河ドラマの誘致は一番の観光資源となるということで、毎年30を超える自治体が手を挙げています。大河ドラマの舞台となると、100億円以上の経済効</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>委 員</p> | <p>果があるといわれており、観光客は100万人以上来るというデータも得られているようです。市の人口が5万人を切る傾向を止めるためにも、「大河ドラマ誘致推進協議会」を立ち上げ、協議、提言してほしいです。そして、市民へも発信して盛り上げていくことが大切で、大河ドラマ誘致について提言（案）に付け加えてほしいです。</p> <p>提言内容を具体的に書いた方が良いです。例えば、資料1の3ページ「①お土産、グルメの開発について」の「市の特産や郷土料理といった」という表現はこれまでもずっと言われ続けています。さぬき市といえば、カキ、自然薯、カンカン寿司なので、具体的に書いてはどうですか。</p> <p>誘致という話がありましたが、放送局と行政が話し合うような場があっても良いかと思います。テレビ番組では、三木町の木の桶が取上げられていましたが、さぬき市は通過されて、東かがわ市に話題が移りました。新聞社ではなく、放送局とコンタクトを取ってはどうですか。市が積極的に情報提供するのを、放送局は待っているのではないのでしょうか。そういったことを、まずはやってみることが大切で、提言に入れてほしいです。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>「はじめに」があれば「おわりに」が必要だと他の委員が言われていましたが、最後に全体的なまとめがあっても良いかと思いました。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>資料1の4ページ「(3) 子育て支援の充実について」ですが、具体的に何を検討してほしいかということを入れた方が良いでしょう。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>テレビ番組で、都会でリタイアした人が田舎へ来て、野菜を作りながらカフェやレストランを地域の人としている様子が放送されるものがあります。そういう方がいれば、放送局へコンタクトを取って市の宣伝につなげられると思います。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>観光で人を呼んだ後に住みたいと思うためには、資料1の4ページ「(3) 子育て支援の充実について」と「(4) 移住促進について」が非常に重要になってきます。市の移住制度は県外移住者を対象にしたものはありますが、県内のUターンで対象にならない人などがいます。どういう制度があるかということを知り、元々、地元でいた人が戻りやすくなるよう考えてほしいです。</p> <p>(参考に、政策課の移住定住事業の両面チラシを追加資料として配布)</p> |
| <p>委 員</p> | <p>資料1の4ページ「(3) 子育て支援の充実について」ですが、前回の会議で公園の整備と発言したのは、子育て世代だけでなく、老後を迎えてからの人でも散歩したり、ベンチで休んだり、少し運動したりできるような設備が不足しているという意味でした。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>他の委員からも発言があった農薬についてですが、市販でよく売られている農薬でも毒性が高く、大変問題になっています。日本でも市で禁止しているところがあります。そのような現状を含めた農業の推進を考えた方が良いです。農薬によって自然環境が汚染され、発達障害の子どもが増えているともいわれており、子育て支援にも関わります。緊急に農薬の使用について、行政を中心に考えていかないと大変な世の中になることから、今後の課題として含めてほしいです。</p> |
| 委員 | <p>子どもが東京にいて、なかなか帰ってこない家庭は多いと思います。その結果、人口が減って空き家が増えていきます。子どもがUターンできないことは、県、市にとって大変な問題です。</p> |
| 委員 | <p>農薬の話がありましたが、県の消費者の会議に出た際も、農薬に対する消費者の心配と行政の考えが平行線であるような印象を受けました。行政として、市民に農薬の使用についても考えるような呼びかけを行っても良いのかと思います。</p> |
| 委員 | <p>今後の課題として、委員の皆さんから「県外への情報発信、拡大」について多くの御意見が出されましたが、私案を申しますので、提言書の内容の参考にしてください。</p> <p>さぬき市から、県外、特に京阪神の人へ本市の良さを知ってもらうための情報発信を強化することが切に望まれます。都会でのPRはもちろん瀬戸内国際芸術祭や丸亀国際ハーフマラソンなどの機会を利用してはどうですか。</p> <p>先日2月12日から千葉県の幕張メッセで開かれていた「スーパーマーケット・トレードショー」があり、県内からもたくさんの出品がありました。しかし、カンカン寿司など、さぬき市からは出品がなかったようです。</p> <p>瀬戸内国際芸術祭は高松市から県内の西半分がメインです。さぬき市や東かがわ市は、有人島がないため会場になれないようですが、それで終わりとししないで、県外や国外から来た観光客に向けて、さぬき市をPRして、来てもらう方法もあります。丸亀国際ハーフマラソンも同様です。不特定多数の人が来る機会に合わせて、市をPRすることが大切です。</p> |
| 委員 | <p>グルメのことを前回言いましたが、若い人も食べるグルメが重要です。例えば、孫がおいしいと言っていたら、祖父母も食べたいという気持ちになります。</p> <p>開発できないのであれば、市内のいろいろな業者が集まり、何でも食べられる下関のカモンワーフのような施設を検討してはどうですか。また、出店者の中には、全国的なチェーン店が1、2軒入っていて、地元業者だけでは集客において不安だが、全国的なチェーン店が入ると大丈夫だと安心します。</p> <p>さぬき市でいうと、先日行われていた「うまいもんまつり」を年間通して複数回行うなど工夫すると、一発花火でなく知名度が変わると思います。</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>先月、サンポートホール高松で開かれた地域活性化に関する講演会に行ってきました。講師が最後に言ったのが、「香川県は開発すべきところがたくさんあります。」とのことでした。この講師は、あまり知られていなかった福井県鯖江市を、伝統産業と新しい産業を融合させ活性化させました。</p> <p>講師は3つの大切なことばも言っており、まずは工夫です。他の市町がやっていることの真似ではだめだということです。</p> <p>2つ目は、鯖江市のように、新しいものと伝統産業をミックスさせることが大切だということです。</p> <p>そして最後は、決定的なものはグルメだと言っていました。特定の地域でしか食べられないものを、また食べたいと思われるものを開発しておかないとリピーターが来ません。リピーターが来ないような地域はだめです。現在のさぬき市はまだまだです。</p> |
| 会 長 | <p>これまでたくさんの御意見を頂きましたが、大まかには、社会減による人口減少という面も含めて移住促進、グルメが重要となる観光、農業に関してが話題になっているかと思います。</p> |
| 委 員 | <p>Uターンしたときに、三世代の支援事業を知りましたが、最初から近居も対象でしたか？</p> |
| 事務局 | <p>最初から近居も対象でしたが、要件が複雑なところがあり、これまで対象外となる方もおられました。</p> |
| 委 員 | <p>新築でなく、誰かが住んでいた空き家を活用したいのに、支援制度がなかったり、利用してみたいと思うような事業が実際には使いづらい印象を受けたりします。これまでに意見が出た「若者の意見を聞く」ということを行い、柔軟な対応をしてもらえると良いと思います。</p> |
| 委 員 | <p>資料1の4ページ「(4) 移住促進について」の子育て支援による移住促進ですが、自分が転勤族で愛媛に移住したとき、とても不安感があり、公園や図書館に行きました。ところが、さぬき市を見ると、身近なところに公園がない、図書館がない状態です。やはり子育て支援による移住促進は、子どもたちを遊ばせる公園などが重要です。</p> |
| 委 員① | <p>12月3日の新聞からですが、四国では初めて三豊市がパートナーシップ制度を導入しました。現在、LGBTの人が12人に1人いるといわれています。以前、木村アンリさんの講演を聞きましたが、三木町出身で、お母さんは長尾出身だそうです。国連のSDGs「誰一人取り残さない」世の中にしようという観点から、さぬき市ではパートナーシップ制度に対して、どのような取組をされている</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>ますか？</p> |
| 委員② | <p>LGBTの木村アンリさんの講演会は、昨年何回か職員対象にもありました。その他にもコミュニティ放送でも見ることができました。</p> |
| 事務局 | <p>おっしゃっているのは、市民課の窓口を設置されている届け出をして、正式には婚姻が認められないけれども、何か証明的なものを市が発行するというものだと思います。三豊市や高松市もやり始めたと聞いておりますが、さぬき市はまだ導入には至っていないのが現状です。</p> |
| 委員① | <p>例えば、さぬき市が早くそういう制度を導入すると、少しでも移住促進につながるのではないかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>まずは、そういった方がいらっしゃって、多様な考え方からまちづくりをする考えが大切です。先ほど言われた木村アンリさんの講演会を私も聞きましたが、職員だけでなく、市内の企業の方も一緒に参加していただきました。情報を共有することにまずは取り組んでいる状況です。</p> |
| 委員① | <p>情報共有だけでなく、先に市の窓口が開いていないと、LGBTの方はカミングアウトできません。</p> <p>さぬき市も三豊市や高松市のように窓口を開けば、法的な根拠にならなくてもパートナーシップ宣誓書があれば、病院での面会や手術の同意書、市営住宅の入居などができます。1人でも人口を増やさないといけないのであれば、先に窓口を開けて前向きに取り組む必要があります。</p> |
| 委員③ | <p>SDGsには17項目あって、先ほど言われていたLGBTに関しては、そのうちの一つです。国連で決められたSDGsの持続可能な社会にしましょうという17項目をこれから15年間掛けてしようというのであれば、まずは政策課でさぬき市は特に何に取り組むという目標を立てた方が良いです。先ほどはLGBTに関しての一つの項目についての発言でしたが、まずは勉強する機会が必要だと思います。</p> |
| 委員① | <p>SDGsは環境などに関してもありますが、人口減少に対してパートナーシップ制度を導入してはどうかと思いました。</p> |
| 会長 | <p>一通り御意見をお聞きしたと思います。これまで、提言の中に具体的なことが入っていないのではないかと御意見、情報発信力の強化については、市民だけでなく県外への情報発信を強化してほしいという御意見、観光は特にグルメに関しての御意見、子育て支援の御意見が出ました。これらは、提言書(案)の中</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>に記載があるので、今日頂いた御意見を追加して、もう少し具体的にします。全部が全部というのは難しいですが、できるだけ皆さんの具体的な御意見を反映させてはいきたいと思えます。</p> <p>これまで、具体的な御意見というのはあまりなかったもので、何か他にあれば御意見をお願いします。</p> <p>それと、最初に御意見頂いた「今後の課題」について、何を入れるかですが、委員からは4つの課題について提案がありました。他の委員の皆さんが提案のとおりで良いのであれば、そのまま入れようと思えます。しかし、4つの課題以外にも入れたいものが皆さんあると思うので、御意見を頂きたいと思えます。後ほど、提案された委員と副会長とでまとめていきたいと思えます。</p> |
| 委員 | <p>資料1の1ページにある「提言にあたって」のまとめの最後に具体的に書いたらどうかと思えます。最後に課題として出したら、結局それまでの記述は何のためか、となります。</p> |
| 会長 | <p>最初のページの最後に「今後の課題」として書くという御意見ですね。提案委員はどうですか。</p> |
| 委員 | <p>おっしゃっている意味は良く分かりますが、最初に申しましたように、「提言にあたって」が「はじめに」であれば、「おわりに」がないと提言としておかしいと思えます。私個人としては、大きな3の項目を立てて、「今後の課題」とした方がよいと思えます。オープンエンドにすることが大切だと考えます。</p> |
| 会長 | <p>皆さん、いかがでしょうか。</p> |
| 委員① | <p>「今後の課題」はいろいろな手段における各項目の中で、具体的な手段を述べてはどうですか。まずしてほしいこと、具体的な手段、今後の課題を、項目の中で細かく、こうしたら良いなどを入れてはどうですか。大まかにするよりは良いと思えます。</p> |
| 委員② | <p>ただ、「今後の課題」については、時間の都合で十分に検討できていないので、今後の協議の方向性ぐらいしか入れられないと思えます。十分に検討はできていないですが、重要な課題ですということを入れて提言してはどうかと思えます。</p> |
| 委員 | <p>細かい表現ですが、各項目の「～について」というのは不要だと思えます。文章としてすっきりさせた方が良いでしょう。資料1の3ページに「(1) 観光について」とありますが、「リピーターを増やすための観光」としてはどうかと思えます。リピーターが増えないと、何にもなりません。</p> <p>また、資料1の3、4ページ「(2) 情報発信力の強化について」というより</p> |

| | |
|--------------------|--|
| <p>会 長</p> | <p>は、広報紙を読みやすくするというのは、「情報発信方法の改善」だと思います。適切な表現を提案しますが、いかがでしょうか。</p> <p>委員全員の提言書となるように最終的なまとめをしていきたいので、大きな3として「今後の課題」を入れるかどうかについて、裁決を採りたいと思います。</p> <p>中身は具体的には書きませんが、「はじめに」からの「おわりに」となるように、大きな項目として「今後の課題」とすることに賛成の方、挙手をお願いします。</p> <p>(挙手)</p> <p>そう思わない方、挙手をお願いします。</p> <p>(挙手の結果、同数となる。)</p> <p>～休憩～</p> |
| <p>会 長</p> | <p>多数決では同じだったので、私と提案委員とで話し合いました。せっかくの御意見であるので、(5)として「その他の課題」として、表記も含めて考えていくことにします。内容については、御意見頂いた「若い人の意見の聴取」、「県外への情報発信」については、「(2) 情報発信」の部分に入れ、「関係人口の拡大」、「女性の管理職だけでなく登用」や、先ほど御意見頂いたパートナーシップ制度についても含めて、その他としてまとめて提言書とするということにしたいと思います。</p> <p>今回、以上のようなまとめ方をさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>提言書を市長当局へ提出する際に、内容について説明する機会はありますか。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>冒頭に提言書の重要な部分については説明します。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>もし時間があるのであれば、提言書には書ききれなかったが、こういう意見も出たという内容を伝えるのも一つの手段だと思います。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>提言書を修正してまとめて、最終皆さんに見ていただいて、どうしてもというところは御指摘いただいて、まとめていきたいと思います。</p> |
| <p>議 事 会 長</p> | <p>(2) その他</p> <p>本日、事務局から配布された資料は、前回、委員が示した資料に関するもので、数字の出所はどうなっていますか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>資料における平成30年4月分の①平均給料月額、②諸手当月額、③賞与は、</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>総務省のホームページでも、同じ数字を確認できました。4月分の平均給料月額、諸手当を1.2倍したものに賞与を足して平均年収を出しているのは、委員が示されたホームページ独自で参考までに計算されている数字だと思います。</p> |
| 会 長 | <p>普通、年収といえば1.2か月分の給料と諸手当、そして賞与を全部合計して計算すると思います。しかし、ある特定の月を1.2倍して計算するとなると、繁忙期となる年末の1.2月や年度末、あるいは議会のときなどの時間外手当が多い月の場合、偏りが出ると思います。</p> |
| 委 員 | <p>年収が4月分を1.2倍して計算されているというのは、確かなものですか？</p> |
| 事務局 | <p>提示されたホームページで他市町についても確認したところ、同様になっていました。総務省のホームページで公表されているのは、4月分の給料などについてで、他の月については公表されていないようでした。そのため、年収を計算するに当たり、総務省で公表されている4月分をベースに計算されたのではないかと思います。</p> |
| 委 員 | <p>私の方でも資料を作ったので配布しましたが、市の資料との違いを説明したいと思います。私から配布した資料を御覧ください。</p> <p>地域手当について「国基準を上回る支給率の団体」が出ています。香川県ではさぬき市が該当しています。高松市は、国が地域手当をここまで出して良いという「地域手当国基準の支給率」どおりに地域手当を6%出している状況です。高松市の「地域手当補正後のラスパイレス指数」は101.1、さぬき市も同じ101.1です。でも、どこが違うかと言うと、さぬき市は「地域手当国基準の支給率」が0%ですが、実際には2%支給されている状況です。他の市町は国基準どおりです。</p> <p>なお、香川県は国基準が4.35%となっていますが、実際は3.2%しか出していません。国基準を下回っている部分を他の予算に回していることが考えられます。</p> <p>そして、財政力指数の1番が坂出市、2番が高松市、3番が丸亀市、4番が観音寺市、5番が善通寺市、6番が三豊市、7番がさぬき市、8番が東かがわ市。しかし、表の一番右端の実質公債比率、資金繰りの良いのは東かがわ市が県内トップです。</p> <p>さぬき市は、資金繰りが一番悪くて実質公債比率が13.1なのに、「地域手当補正後のラスパイレス指数」は高松市と並んで県内トップです。個人の感じ方ですが、財政収支における人件費の占める割合が高いことに、私は誠実さを感じられません。結局、お金がないのに、大盤振る舞いをしているということです。このことを、この委員会でももう少し大きく取り上げてほしいと思います。</p> |

| | |
|-----|--|
| 会 長 | さぬき市では国基準と異なって、地域手当を出しているのに何か理由がありますか。 |
| 事務局 | <p>この地域手当は、国の人事院勧告を踏まえた「地方公務員の給与制度の総合的な見直し」により、地域手当を出す地域と出さない地域が作られました。香川県内では高松市や坂出市、三木町が地域手当を出せるように指定されました。</p> <p>ただ、例えば、同じ香川県の職員であっても高松市にある本庁に勤めている人は地域手当が出るのに、丸亀市に勤めている人は出ないという、在勤地によって支給の有無があるという非常に理不尽な制度となっていました。このため、当時香川県は県の人事委員会の勧告に基づいて、全職員をおしなべた形で2%を支給することにしました。さぬき市もこれにならい2%の地域手当を支給することとしたものです。</p> |
| 会 長 | <p>来年度の会議で、委員の皆さんが職員給料等について取り上げたらどうかということであれば、改めて詳しい資料で審議していくことにしたいと思いません。</p> <p>いろいろと御意見を頂いたので、できるだけ提言書に入れられるようにして、早めに修正したものを確認してもらえるようにします。文言については、私と副会長に御一任頂くということで御理解ください。以上で会議を終了します。</p> |
| 閉会 | |